

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

独創的な技術と製品により安心で豊かな社会の実現に貢献する

2 中長期の経営戦略

1. 既存事業の継続的基盤強化

基礎化学品は生産効率改善とコストダウンで収益基盤を強化。機能化学品はグローバルニッチトップ製品の市場深耕と新規用途開拓を推進

3. サステナビリティ経営の推進

TCFD対応、GHG排出量算定、環境負荷低減策、健康経営、人的資本投資を実施し企業価値向上と持続可能な社会実現を両立

2. 新製品創出力の強化

環境・エネルギー、モビリティ、情報・通信、健康・ヘルスケアの4分野でグローバルニッチトップ製品の早期上市を目指す

4. ヘルスケア事業の拡大

松山工場新設備の営業開始を2025年7月に前倒し。尼崎工場増強を2025年9月に前倒しし糖尿病・肥満治療薬需要に対応

3 対処すべき課題

① 経済環境の不確実性への対応

- ・ 米国関税措置、中国経済懸念、物価上昇など景気下振れリスクが継続
- ・ 中期経営計画「Shape the Future-2025」の施策を着実に実行

② 医薬品関連需要への迅速な対応

- ・ 糖尿病治療薬・肥満治療薬向け需要が急速に増加
- ・ バイオ医薬品領域への本格的進出と核酸医薬など中分子領域への対応

③ 環境・ガバナンス対応の強化

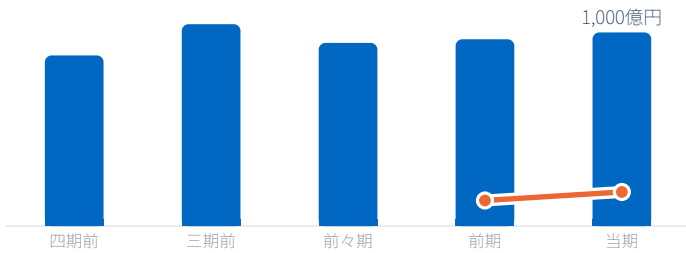
- ・ コーポレートガバナンス・コードへの適切対応
- ・ レスポンシブル・ケアとISO活動で環境・安全・品質を確保
- ・ 統合報告書開示によるステークホルダーとの対話深化

面接で使えるポイント

- ・ 中期経営計画『Shape the Future-2025』で既存事業基盤強化と新製品創出力の強化を同時推進する戦略
- ・ 松山工場2025年7月、尼崎工場2025年9月完工予定と積極的な設備投資でヘルスケア事業を急速拡大
- ・ 全固体電池用超高イオン伝導性ポリマーやバイオ医薬品材料など4分野のグローバルニッチトップ製品開発

証券コード 4046

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,000億円営業利益率
17.6%財務健康度
74点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 58.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
727万円

化学内 94位/204社

平均年齢
42.1歳

化学内 101位/204社

平均勤続
17.3年

化学内 53位/204社

女性管理職
4.1%

化学内 132位/173社

男性育休
100.0%

化学内 13位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

